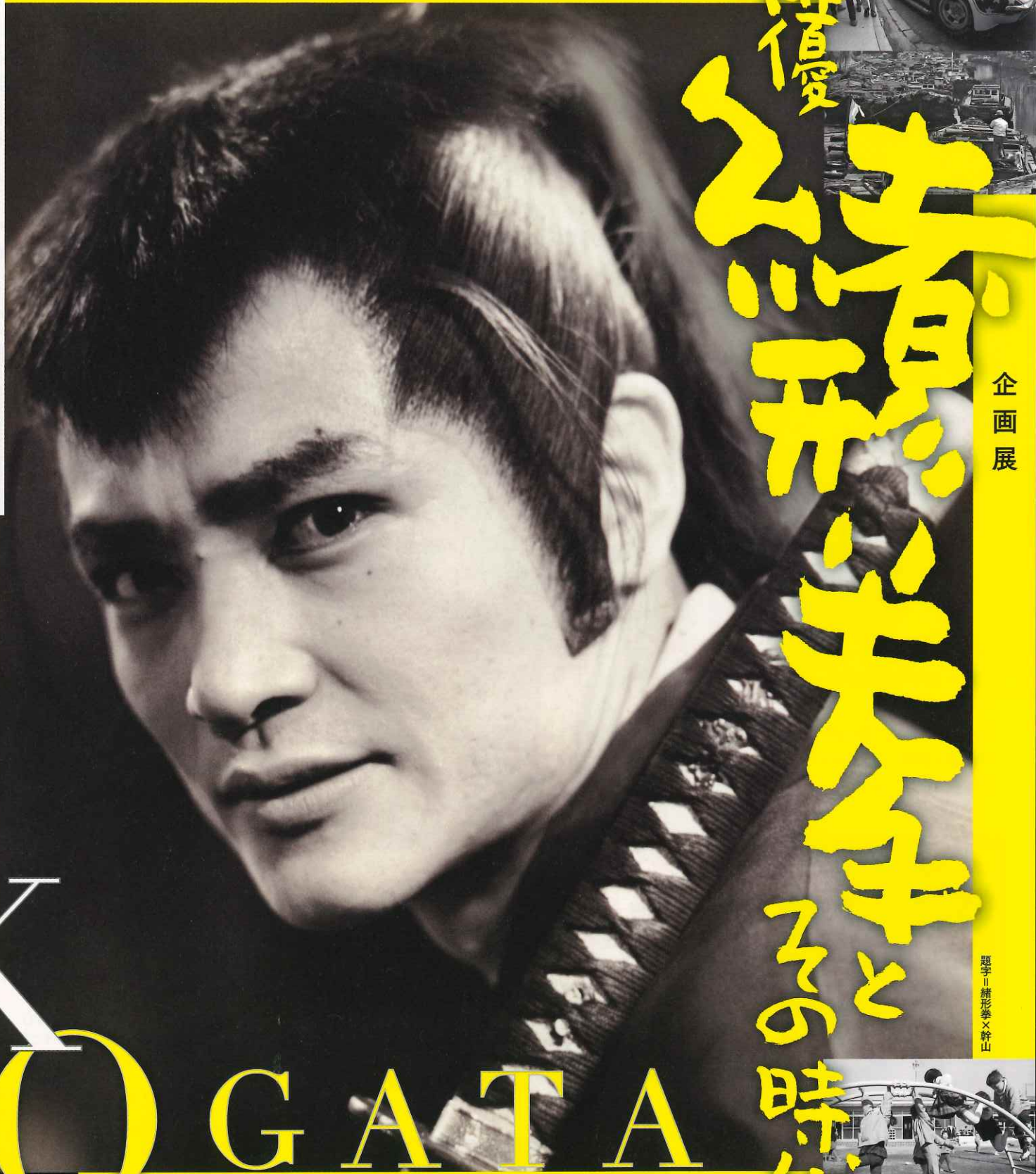


戦後大衆文化史の軌跡



俳優 緒形拳とその時代の時代

企画展

題字：緒形拳×幹山

Kōji Yajima

俳優 緒形 拳とその時代

2020 10/3(土)~12/6(日)

休館日 | 月曜日(11月23日を除く)、11月24日 開館時間 | 9:00~16:30 (券売は16:00まで)

観覧料 | 一般500円 / 高校・大学生300円 / 小・中学生、横浜市内在住65歳以上100円

【共催】NHK 横浜放送局 / 横浜市教育委員会 【協力】(株)緒形事務所 / KAAT 神奈川芸術劇場

【企画協力】朝日放送テレビ(株) / (株)アルファエージェンシー / 池波正太郎記念文庫 / (株)East / (株)今村プロダクション /

(株)オフィス池波 / (株)KADOKAWA / 護縁(株) / 松竹(株) / (株)松竹撮影所 / (株)ゼロ・ピクチャーズ / (株)TBSテレビ /

(株)テレビ東京 / 東映(株) / 東宝(株) / 日本アカデミー賞協会 / (株)フジテレビジョン / Bunkamura / (株)三越伊勢丹

【映像協力】(株)アズバース / (株)テレビ朝日 / 日本テレビ放送網(株) / 国際日本文化研究センター (五十音順)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会期・開館時間・関連イベント等については変更する場合がありますので、最新の情報は、横浜市歴史博物館ホームページまたはお電話にてご確認ください。

横浜市歴史博物館
YOKOHAMA HISTORY MUSEUM



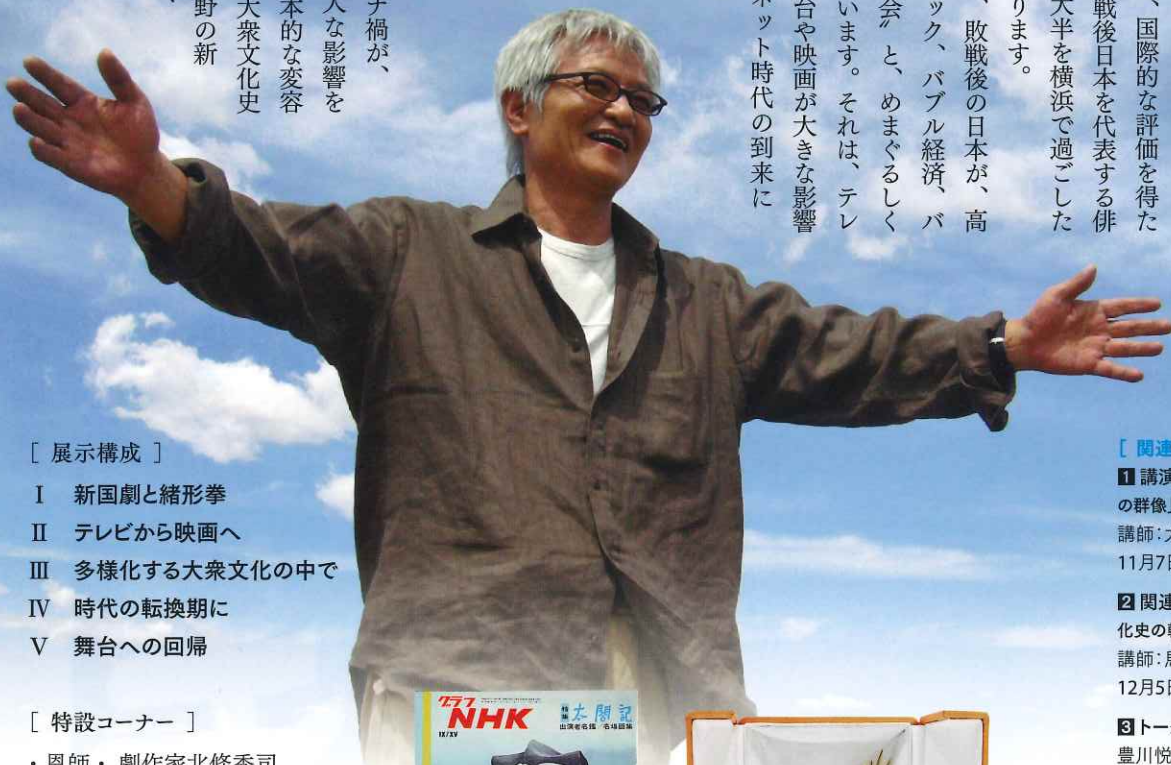
俳優 緒形拳とその時代

●緒形拳は、一九五八年に劇団新国劇に入団以来、二〇〇八年に亡くなるまで、舞台を基礎としつつ、黎明・発展期のテレビドラマ・ドキュメンタリー番組、国際的な評価を得た映画など多分野で活躍した戦後日本を代表する俳優です。また緒形は人生の大半を横浜で過ごした「横浜ゆかりの俳優」でもあります。

●緒形拳が活躍した時代は、敗戦後の日本が、高度経済成長からオイルショック、バブル経済、バブル崩壊後の「失われた社会」と、めまぐるしく移り変わる時代と重なっています。それは、テレビの登場によって演劇の舞台や映画が大きな影響を受け、さらにインターネット時代の到来によって、既存のメディアが

急激に変容する時代とも重なっています。本展は、緒形の足跡をたどりながら、戦後日本の大衆文化史を俯瞰し、現代史に位置づける試みです。

●二〇二〇年の現在、コロナ禍が、「演ずる」「観る」文化に甚大な影響を及ぼし、従来のあり方に根本的な変容が求められています。戦後大衆文化史を振り返る本展が、この分野の新たな指針を探る契機となり、「演ずる」「観る」人びとにエールを送ることができれば幸いです。



〔 展示構成 〕

- I 新国劇と緒形拳
- II テレビから映画へ
- III 多様化する大衆文化の中で
- IV 時代の転換期に
- V 舞台への回帰

〔 特設コーナー 〕

- ・ 恩師・劇作家北條秀司
- ・ 王将への想い
- ・ 今村昌平監督と「榎山節考」
- ・ 緒形拳と芸術 —活動と作品—
- ・ 緒形拳と横浜 他



- ①…撮影現場の緒形拳
- ②…パルム・ドール受賞トロフィー（「榎山節考」）
- ③…グラフNHK 特集太閤記
- ④…緒形拳書画 ドラマロケ「風林火山」にて
- ⑤…新国劇舞台「王将一代」台本
- ⑥…三越劇場舞台「王将」ポスター
- ⑦…新国劇時代使用の行李、舞台小道具
- ⑧ 水沼真澄氏撮影・写真提供
- ⑨ (株)今村プロダクション・東映(株)所蔵・写真提供
- ⑩〜⑪ 緒形事務所蔵

〔 チラシ表面 〕
「新国劇時代の緒形拳」緒形事務所所蔵
※上記以外は横浜市史資料室所蔵写真

〔 関連イベント 〕

- ① 講演会「大河ドラマと時代考証 —緒形拳主演「時の群像」を素材に—」(仮題)
講師：大石学氏(東京学芸大学名誉教授)
11月7日(日) 14:00~15:30 会場：講堂
- ② 関連講座「俳優緒形拳とその時代 —戦後大衆文化史の軌跡—」(仮題)
講師：馬場弘臣氏(東海大学教授)
12月5日(日) 14:00~15:30 会場：講堂
- ③ トークショー「緒形拳の作品とその魅力」(仮題)
豊川悦司氏(俳優)、貴島誠一郎氏(プロデューサー)
11月21日(日) 午後 時間未定 会場：講堂
- ※①〜③…資料代500円、定員60名(事前申込)
申込方法は当館ホームページをご覧ください。
- ④ 展示監修者・馬場弘臣氏(同前)による展示解説
10月10日(日)・10月25日(日)・11月8日(日)・11月22日(日)
14:00より40分程度
・参加費無料(企画展チケットが必要)
・開始5分前までに講堂前にお集まりください。

観覧料 |

企画展 | 一般500円(400円)/高・大生300円(240円)/小・中生・横浜市内在住65歳以上100円(80円)
常設展共通 | 一般700円(560円)/高・大生400円(320円)/小・中生・横浜市内在住65歳以上150円(120円) ※()は20名以上の団体料金

〔日時指定オンラインチケットのご案内〕

購入・詳細は博物館ホームページをご覧ください。
本展の販売開始は9月26日を予定しています。



横浜市歴史博物館

〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-18-1
TEL 045-912-7777 FAX 045-912-7781
交通 | 横浜市営地下鉄「センター北」駅下車、徒歩5分
<https://www.rekihaku.city.yokohama.jp>

横浜市歴史博物館は(公財)横浜市ふるさと歴史財団が指定管理者として管理・運営しています

〔 主な展示資料 〕

新国劇時代使用の行李、舞台小道具/舞台・テレビドラマ・映画等の台本、ポスター、パンフレットなど/自筆原稿、書簡、スクラップブック、オフショット写真/映画祭等での受賞トロフィーや賞状 ※パルム・ドール受賞トロフィー(「榎山節考」)の出品/緒形拳氏の書画、作陶など